

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(団体用)

I 基本事項

整理番号 1379

事業名	郷土芸能保存団体		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	教育部	生涯学習文化振興課		款	教育費・10款
電話	0799 - 37 - 3020			項	社会教育費・5項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)		目	文化財保護費・7目
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務				
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	人づくり 知恵あふれ 郷土愛が満ちるまちづくり			
	まちづくりの目標	大好き ふるさと南あわじ【郷土愛】			
	施策目標	地域の歴史を学び、祭や伝統文化に親しみ、語り継ぐことのできる市民を育てる			

II Plan&Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

事務概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人を、構成員内訳)		構成人数(人)	
		南あわじ市内各地区の古くから伝わる伝統芸能の保存伝承を図るため、地元住民と協力して活動を図っている郷土芸能保存団体(15団体)		15	
		活動目的(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)			
		自主的な活動で保存伝承を行い、発表の場を設け、地元住民にも鑑賞していただき、保存伝承していかなければならない大切さを認識していただく。			
	実施内容	(主な事業、活動内容等)			
		現在15団体に市の補助金を出している。それぞれ保存会を結成し、芸能等の保存伝承を行っている。 補助額は50,000円が10団体 100,000円が2団体 150,000円が3団体 合計1,150,000円			
	団体の概要	(どのような団体か、活動目的、活動内容など)			
	保存団体(15団体) 五尺踊保存会 広田地区連合会郷土会郷土芸能部会 丸山郷土芸能保存会 阿那賀郷土芸能保存会 伊加利道具踊保存会 的射の儀保存会 大久保踊保存会 だんじり唄保存会 淡路人形浄瑠璃青年研究会 ささら踊保存会 上八木郷土芸能保存会 中島踊保存会 小榎列郷土芸能保存会 福井子供会人形浄瑠璃部 阿万風流踊保存会				
	事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input checked="" type="checkbox"/> 補助団体 <input type="checkbox"/> 市役所	<input type="checkbox"/> 市単位 () <input type="checkbox"/> 旧町単位 () <input type="checkbox"/> 旧村単位 ()		
補助金算出根拠	合併前から旧町で助成していた額をそのまま引き継いでいる。				
補助交付期間	<input type="checkbox"/> 平成 17 年度 ~ 平成 年度 <input type="checkbox"/> 設定なし				
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)				
	<input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 合併前から引き続いて行っている。				

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
資源配分 インパクト	直接事務費 (千円)	1,350	1,350	1,150	1,150
	補助金	1,350	1,350	1,150	1,150
	財源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他				
	一般財源[A]	1,350	1,350	1,150	1,150
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)				
	事業量2(事業に要した人数)				
	年間経費([A]+[B])	1,350	1,350	1,150	0
	「構成人数」一人当り経費 (千円)	90.0	90.0	76.7	0.0
受益者人数(15)一人当り経費(千円)	90.0	90.0	76.7	0.0	
経費に関する 補足説明					

Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) 各保存会で芸能・文化を保存伝承するには金銭面では助成金では到底不足するので地元からの負担によることが大きい。また、労力も地元にも頼ることがほとんどであると思う。	自己評価 (5点評価)
		3
必要性	公共性の高低 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 (公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 平成19年度の南あわじ市施政方針の一つに <人づくり> “大好き！ふるさと南あわじ”【郷土愛】が掲げられている。どんな時代であっても「人」が中心であり、人づくりが大切だと思います。地元にも伝わっている伝統芸能の保存伝承活動を行うことによって、地域の活性化にも繋がり、人づくりにもなる。	自己評価 (5点評価)
		5
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 地域の活性化、人づくりにも繋がっていく保存伝承活動は非常に大事な事業であると思う。今まで伝承してきたことを時代が変わっていかうとも同じように未来に向けて伝承していかなければならないと思う。	<div style="text-align: center;"> <p>評価グラフ</p> <p>費用対効果 必要性</p> </div>

IV Action&Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減
	どの保存会とも今後の保存伝承活動の主は地元保存会の自主活動に頼らざるを得ない。	同左
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果		
(現状維持の場合も記入)	仮に 補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 各保存会で芸能・文化を保存伝承するには金銭面の負担が大きく、補助金が廃止された場合、各保存会の存続が危ぶまれ、ひいては伝承すべき芸能・文化が廃れることとなる。	